

A粉末剤自動溶解装置

TP-AHI-EX

B粉末剤自動溶解装置

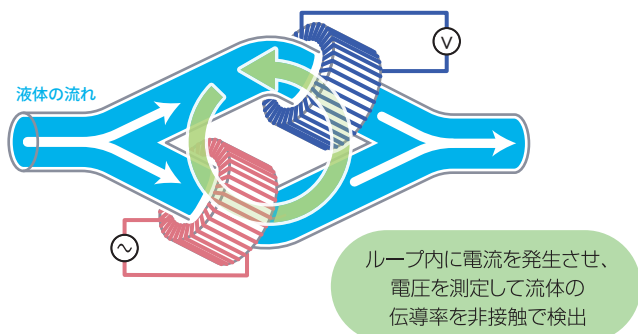
TP-BHI-EX



基本性能

電磁誘導式セルによる濃度フィードバック制御

- ・非接触で透析液原液の伝導率を測定可能な電磁誘導式セルを採用
- ・分極現象による感度低下を抑制し、メンテナンス性を向上



ユーザインターフェイス

操作性を重視した設計

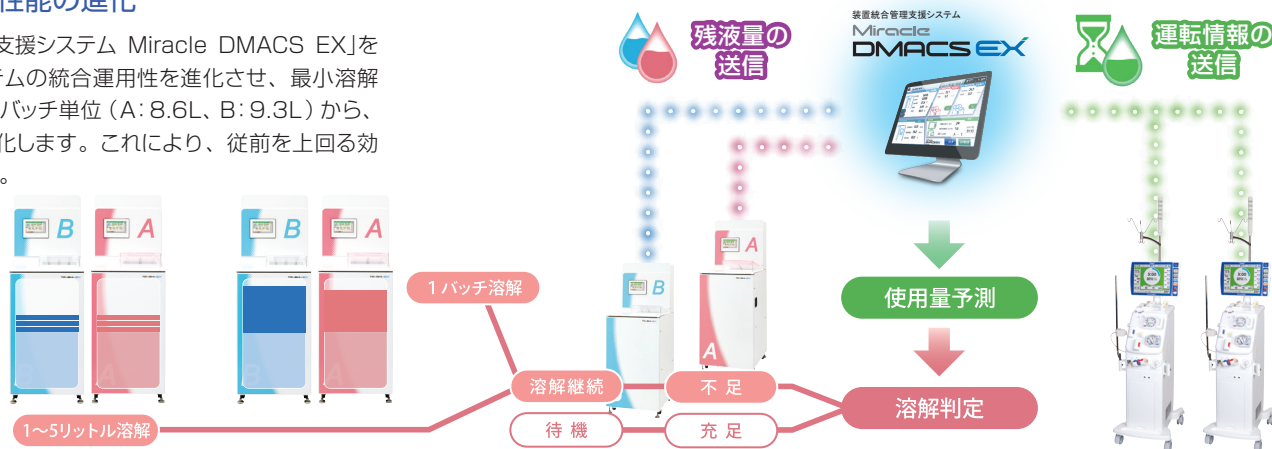
- ・粉末投入操作およびLCD操作を考慮したレイアウト
- ・負荷の少ない姿勢



透析システム統合運用

透析液節液性能の進化

「装置統合管理支援システム Miracle DMACS EX」を含む透析システムの統合運用性を進化させ、最小溶解単位を従前の1バッチ単位（A：8.6L、B：9.3L）から、1L単位に細分化します。これにより、従前を上回る効果を見込めます。



製品仕様

	TP-AHI-EX	TP-BHI-EX
電源	AC100V、50/60Hz	同左
最大消費電力	標準仕様：約0.4 kVA、ヒータ搭載仕様：約1.4 kVA	同左
外形寸法（W×D×H）	540×730×1520 mm	同左
質量（空質量／運転質量）	標準仕様：119／214 kg、ヒータ搭載仕様 ^{*1} ：126／231 kg	標準仕様：118／190 kg、ヒータ搭載仕様 ^{*1} ：125／207 kg
給水条件	圧力	0.1～0.3 MPa
	温度	標準仕様：25～30℃、ヒータ搭載仕様 ^{*1} ：20～30℃
	流量	6.6 L/min以上（溶解運転時）
	水質	JSDT透析用水基準
消毒方式	次亜塩素酸ナトリウム	次亜塩素酸ナトリウム
対象薬剤	透析用A粉末剤（1剤タイプ） ^{*3}	透析用B粉末剤
ホッパ容積	約50 L	約30 L
再現性	±2.0%（給水温度変化5℃以内）	同左
最大供給能力	1140 mL/min ^{*4} （約80台相当 ^{*5} ）	1440 mL/min ^{*4} （約80台相当 ^{*5} ）
送液圧力	標準仕様：約20～30 kPa、ポンプ追加仕様 ^{*1} ：約10～13	同左
使用環境	5～35℃、85%RH以下 ^{*6}	同左

^{*1} オプション

^{*2} カーボスター®の場合は27～30℃

^{*3} ブドウ糖が均一に配合されていない場合、混合誤差の影響を受ける場合あり

・“Miracle DMACS EX” および “EX” は東レ・メディカル㈱の登録商標です。
・“カーボスター” はエイワイファーマ㈱の登録商標です。

^{*4} 給水温度が20℃未満になると供給能力が低下する場合あり

^{*5} 各透析装置における透析液流量設定が500 mL/minの場合

^{*6} 潮解性の高い粉末剤を使用する場合は25℃以下、40%RH以下の環境を推奨

・製品の外观・仕様は予告なしに変更することがあります。
・このカタログの写真等は印刷物のため、実際の色と異なる場合があります。

製造元 東亜ディーケーケー株式会社

販売元 東レ・メディカル株式会社 <https://www.toray-medical.com/>

本社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目4番1号 日本橋本町東急ビル